

自信と期待を抱いて

子どもの心に寄り添う「受容」と、
社会規範や学校のルールを確実に
身に付ける「枠組み」指導を大切
にする学校

先日は、本年度最後の参観会・懇談会に多くの皆さんに御参加いただきまして、誠にありがとうございました。今年度も、お家の方が参観しやすい一日学校公開を2回実施し、年度の初めと終わりに参観会・懇談会を実施いたしました。来年度も同様に行い、より御家庭との連携を図りたいと考えています。

残すところ、今年度もあと20日余りとなりました。学校では、どの子も自分自身の成長に対して自信と期待を抱き、新たな夢や目標を抱いて進級・進学できるよう励ましていきます。引き続き御支援の程よろしく願いいたします。

お知らせ

R2年度の教育活動計画について

現在、次年度の「教育活動計画づくり」を進めているところですが、下記のことについては、概ね確定しておりますのでお伝えします。

【始業式・終業式等の日時について】

令和2年度入学式：4/7(火)

1学期始業式：4/7(火) 13:30～

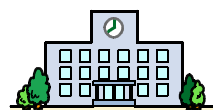
2学期始業式：8/27(木)

3学期始業式：1/6(水)

1学期終業式：7/22(水)

2学期終業式：12/23(水)

修了式3/18(木)・19日(金)が卒業式



【4月の参観会・PTA総会・懇談会について】

参観会：4/24(金) 13:15 ※その後、総会・学級懇談会の予定

【運動会の日時について】

10月31日(土)：予備日11月1日(日) ※運動会代休11月2日(月)

※3月に年間計画案を配布する予定です。

第3回資源回収の結果報告

1/19(日)に実施しました第3回資源回収では、109,580円の収益となりました。御協力ありがとうございました。来年度の第1回目資源回収は6/13(土)を予定しております。今年度に引き続き、御協力よろしく願いいたします。

【学校からのお願い】

今学期になってから「下校方法の変更を子どもに伝えてほしい」という御家庭からの電話を受けることが多くあります。具体的には、「放課後児童クラブに行かず家に帰る」「鍵を渡し忘れたので祖母の家に行く」といった内容です。そのうちの何件かは、授業中や担任が出張中のため用件がうまく伝わらず、児童が下校した後に職員が探しに行きました。幸い大事には至らず、無事であることが確認できましたが、そのことが原因となり大きな事故に繋がらないとは言えません。

本校は1,000人を超える大規模校であるため、そのような用件が1日に10数件となっている現状です。お子様の安全のためにも、御家庭で確実に伝えていただくようお願いいたします。

校長室だより



【2／3朝会の話から】

今日は「節分」ですね。皆さんの中には家で豆まきをする家もあるのではないのでしょうか。

それでは、「節分」にはどうして豆をまくのでしょうか？「節分」で豆をまくのは、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出すためだそうです。だから、「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをします。

なぜ2月3日にやるのでしょうか。「節分」という言葉には、「季節を分ける」という意味があるのだそうです。日本では昔から、春は一年のはじまりとされ、特に大切な日とされていたようです。暦の上で春が始まる日を「立春」と言いますが、「立春」は2月4日ごろなのでその前の日を「節分」と呼んで、豆まきをする習慣が始まったそうです。

それでは、どうして「鬼は外」と言っていて鬼をやっつけるのでしょうか？実は、この鬼というのは悪いものすべてを表す言葉だそうです。例えば、なまけてしまうことや朝寝坊してしまうこと、ちらかしっぱなしすることやおこってしまうことは良くないことです。そういう良くないものを鬼として追い出そうということです。豆は自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫になって病気になりにくいと言われてますから、皆さんは自分の年齢に合わせて豆を食べてください。

さて、先々週に5年生が観音山自然教室へ出かけました。その初日に出会いの集いというのがあり、観音山少年自然の家の所員の皆さんと顔合わせをする会がありました。その会が終わった後に、所長さんからお電話をいただきました。次のような内容です。「袋井北小学校の5年生は、素晴らしいですね。まず、集まる時刻になったら無駄話をせずに、きちんと集まりました。また、話を聞く態度がとても立派でした。話をする所員の方をしっかりと見てうなずきながら聞いてくれました。とても気持ちよかったです。活動の説明をする時にも、集中してしっかりと話を聞いてくれました。」というものでした。人の話をうなずきながらしっかりと聞くというのは、自分のためになるのはもちろんのこと、話している人を気持ちよくさせてくれるんですね。人の話をしっかりと聞いてあげることは、「友達を もっともっと 笑顔にしよう」にも繋がりますね。これからの学校生活の中で、「うなずきながらしっかりと聞く」という姿がみんなに広がったら「友達は もっともっと 笑顔になる」でしょうね。